

環境経営レポート



株式会社 **ファルコン**

発行：2024年11月29日

対象期間：2023年7月～2024年6月

<はじめに>

株式会社ファルコンの社名は、ハヤブサが地球上で最も速く移動できる生き物で、急速に方向転換ができる特性を持っていることから、時代の流れを素早く察知し、社会のニーズに応えることのできる建設コンサルタントとして成長するようにと名付けられたものです。

私たちは、建設コンサルタントとして、地域で暮らす人々の安全を守るために調査・設計、地質調査、測量、構造物点検、人材派遣などを行っています。

私たちの果たすべき役割は時代と共に変化しており、環境に配慮した仕事を常に考え進めていく必要があります。そのためには、高い技術力を身につけ、提案できる企業であり続けるべきだと考えています。



< 目次 >

環境経営方針	1
会社概要.....	2
環境経営組織図と役割・権限.....	3
今後の中長期計画	4
環境経営目標(Plan)	5
環境経営計画の取組み内容(Do)	6
取組み結果とその評価(Check)	7
弊社の取組み紹介	13
環境関連法規等の遵守状況の確認	14
代表者による全体の評価と見直し・指示(Action).....	15

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社ファルコンは、経営理念である『社員一人ひとりが輝き成長できると共にその家族の幸せを追求する企業であり続ける』『私たちの技術力でお客様へ「安心」を提供し地域社会を豊かにする』を基本とし、建設コンサルタント業として、人々の命と財産を守り安心・安全な社会を実現するため、調査・設計、地質調査、測量、構造物点検に注力し、社会インフラ整備の役割を担うと共に、業務実施において環境に与える影響を的確に捉え、地球環境の保全と環境負荷の低減に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

一、環境に配慮した行動の推進

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物排出量の削減
- ③水使用量の削減
- ④グリーン購入の推進
- ⑤環境配慮の推進

一、関連法規等の遵守

事業活動においては環境関連法規等を遵守します。

一、環境活動の推進

地域社会と環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。

一、環境方針の周知と公表

環境方針は全社員に周知徹底し、社員と共に環境経営システムを運用管理し、結果を環境経営レポートとして公表します。

一、環境経営の継続的改善

環境方針、環境目標および環境活動計画は定期的に見直し、継続的改善を図ります。

制定日：2023年5月31日

株式会社ファルコン

代表取締役社長 古川 清司

会社概要

(1) 名称および代表者名

株式会社ファルコン

代表取締役社長 古川 清司

(2) 所在地

本 社：〒770-0053 徳島県徳島市南島田町二丁目 84 番地

阿波支店：〒771-1701 徳島県阿波市阿波町王地 276 番地 1

H P：https://kk-falcon.jp/

(3) 環境管理責任者および担当者連絡先

環境管理責任者：代表取締役副社長 安平 憲司

環境事務局：総務部 総務課 マネジャー

T E L：088-678-7610 F A X：088-678-7611

(4) 事業活動の内容

登録事業名	登録番号
建設コンサルタント業	建 03 第 7249 号
地質調査業	質 03 第 1983 号
測量業	第(6)-22809 号
労働者派遣事業	派 36-300024

(5) 事業の規模

設立年月日：平成元年 4 月 1 日

資 本 金：3,000 万円

売 上 高：5 億 5 千万円（令和 5 年度実績）

従 業 員 数：47 名（令和 6 年 10 月 21 日時点）

延べ床面積：619.59 m²

(6) 事業年度

4月～翌年3月

(7) 認証登録対象範囲

対象事業所：本社

活動：建設コンサルタント業、人材派遣業

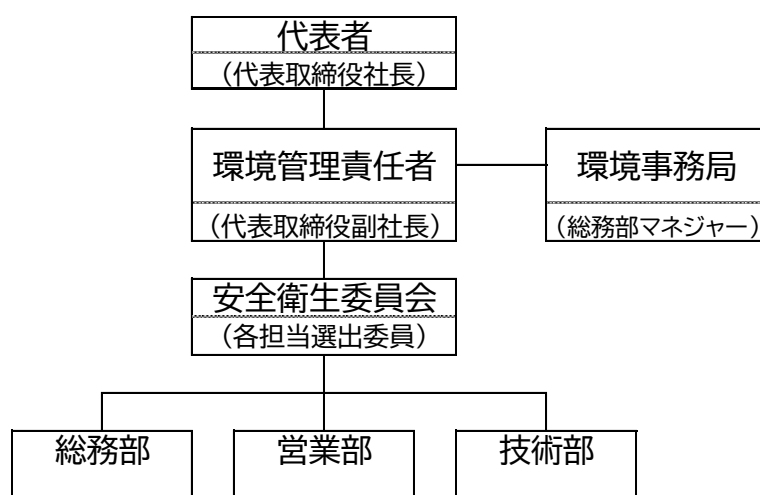
阿波支店は環境負荷が殆どないため、登録事業所に含めていない

(8) レポートの対象期間および発行日

対 象 期 間：2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

発 行 日：2024 年 11 月 29 日

< 環境経営組織図および役割と権限 >



責任者・担当者	役割・責任・権限
代表取締役社長 古川 清司	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営システム構築に必要な人・物を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し・指示を実施 ・代表者による全体評価と見直しを実施
環境管理責任者 代表取締役副社長 安平 憲司	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・環境活動の実績集計を承認 ・環境関連法規等の取りまとめを承認 ・環境活動の取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの承認 ・是正措置・予防措置の勧告
環境事務局 松下 真理 森下 岳史 平井 奈菜	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック実施 ・環境への取組の自己チェック実施 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境活動の実績を集計 ・環境関連法規等の取りまとめおよび遵守状況の評価 ・環境関連の外部コミュニケーション窓口 ・環境経営レポートの作成および公表
安全衛生委員会	・環境経営システムの運用管理 ・社員の意見聴取、記録作成
各部門長	・環境経営システムの実施 ・環境経営方針の周知 ・社員に対する教育訓練の実施 ・環境経営計画の実施と達成度の報告 ・特定項目の手順書作成および運用管理 ・問題点の把握と是正措置・予防措置の実施
全従業員	・決定事項を守り、自主的、積極的に環境活動に参加

中長期計画（Plan）

項目	年度※1	基準値	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		2022.7.1～ 2023.6.30	2023.7.1～ 2024.6.30	2024.4.1～ 2025.3.31	2025.4.1～ 2026.3.31
電力使用量		16,994	16,943	16,892	16,842
ガソリン使用量		37,283	37,171	37,060	36,948
二酸化炭素排出量		96,167	95,878	95,591	95,304
水使用量		324	323	322	321
廃棄物排出量※2		4,800	4,786※3	4,772※3	4,757※3
			1,024	1,021	1,018
グリーン購入		42.4	42.7	43.0	43.3
環境配慮型技術提案		0	1	2	3
地域貢献		3	3	3	3
社員満足度の向上		2.86	2.87	2.88	2.89

※1 削減率は 0.3%/年を基本とした

※2 2024年度から基準を再設定

（基準年に多量の排出があった為、2023 年度実績を基準値に再計算）

※3 上段は見直し前の目標値

※4 軽油の使用は僅かであるため、目標から除外

※5 化学物質の使用なし

環境経営目標（Plan）

<環境経営目標 目標値>

項目	単位	基準値 2022/7/1～ 2023/6/30	目標値 2023/7/1～ 2024/6/30
電力使用量	kWh	16,994	16,943
ガソリン使用量	ℓ	37,283	37,171
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	96,167	95,878
水使用量	m ³	324	323
廃棄物排出量	kg	4,800	4,786
グリーン購入	%	42.4	42.7
環境配慮型技術提案	件	0	1
地域貢献	回	3	3
社員満足度の向上	点	2.86	2.87

<社員1人/年あたりの環境負荷量>

項目	単位	目標値 2023/7/1～ 2024/6/30
電力使用量	kWh	385
ガソリン使用量	ℓ	845
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,179
水使用量	m ³	7.3
廃棄物排出量	kg	108.8

【社員数は6月末時点で44名であった】

CO₂排出量の算出に用いる排出係数は、以下を適用する。

【電力】0.569 kg-CO₂/kWh（環境省 四国電力㈱ R4排出係数）

【ガソリン】2.32 kg-CO₂/ℓ（環境省 算定方法・排出係数一覧）

原単位は、<社員1人/年あたりの環境負荷量>とした。

今後、社員数の増加とそれに伴う電力使用量などの総量も増加が想定されるため、年間実績値を期末社員数で除した原単位を参考値として管理する。

環境経営計画の取組み内容（Do）

活動項目	活動内容
電力使用量の削減	エアコンの設定温度（冷房 28℃、暖房 20℃）
	不要時のフロア消灯
	こまめに使用していない所の電気を消す
	帰社時は PC モニタの電源を OFF にする
	不必要なプラグはコンセントから抜く
	過充電の防止
	クールビズ・ウォームビズの実施
	夏季の便座暖房機能 OFF
ガソリン使用量の削減	適切な車両整備
	エコドライブの励行
	アイドリングの停止
	Web 会議・Web 講習の積極的な導入
	通勤・現場移動ルートの効率化
	距離に応じたハイブリッド車の使用
	協議日程の調整・乗り合わせ
水使用量の削減	トイレのオート洗浄 OFF
	節水の心掛け
	適切な洗剤使用量の厳守
廃棄物排出量の削減	社内書類の電子化
	印刷前プレビュー確認の徹底
	ミスプリントを減らす
	裏紙の使用
	マイ箸・マイカップの使用
	ペーパーレス社内会議の推進
グリーン購入の推進	再生紙の使用
	グリーン購入対象品の積極購入
環境配慮型技術提案	成果品の紙を環境配慮製品のものにする
	NETIS 新技術の比較・採用
	充電式装備の使用（ヘッドライト、黄チヨッキ等）
	受注業務における提案
地域貢献の取組み	地域ボランティア清掃への参加
	清掃活動の参加頻度およびエリアの拡大
	災害緊急対応のためのドローン操縦技術者育成
社員満足度（ES）の向上	社内アンケートの実施

取組み結果とその評価 (Check)

<環境経営目標 実績と評価>

年度 項目	目標値	実績値	評価 ※1 達成率(%,点)
電力使用量(kWh)	16,943	16,784	○ 100.9%
ガソリン使用量(ℓ)	37,171	37,379	○ 99.4%
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	95,878	96,604	○ 99.5%
水使用量(m ³)	323	281	◎ 114.9%
廃棄物排出量(kg) ※2	4,786	1,024	◎ 467.4%
グリーン購入(%)	42.7	68.8	◎ 161.1%
環境配慮型技術提案(件)	1	1	○ 100.0%
地域貢献(回)	3	4	◎ 133.3%
社員満足度の向上(点)	2.87	2.86	○ ±0 点

<社員1人/年あたりの環境負荷量 比較>

年度 項目	目標値	今期実績	評価 (右は達成率)
	2023/7/1~ 2024/6/30		
電力使用量(kWh)	385	381	○ 101.0%
ガソリン使用量(ℓ)	845	850	○ 99.4%
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	2,179	2,196	○ 99.7%
水使用量(m ³)	7.3	6.4	◎ 114.1%
廃棄物排出量(kg)	108.8	23.3	◎ 467.0%
期末の社員数	44 名	44 名	-- --

※1 環境経営目標の評価は、以下の基準で判定した

◎110%以上 ○90%以上 110%未満 △50%以上 90%未満 ×50%未満

※2 廃棄物排出量は今期の実績を 2024 年度・2025 年度の基準とする

<環境経営計画の実績と評価>

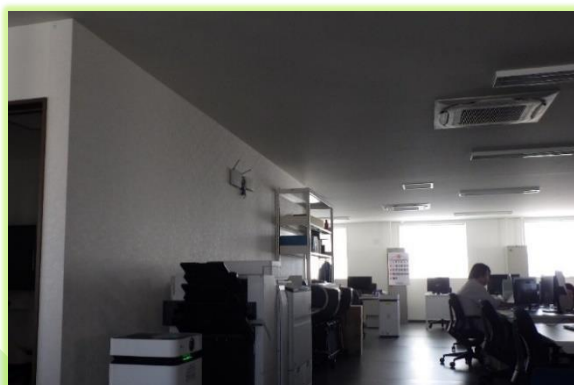
方法：Webフォームを用いた社内アンケートを年2回実施した

集計：「ほぼ毎日」、「時々」、「ほとんどしていない」、「全くしていない」、「該当しない」の5肢から回答してもらい、「ほぼ毎日」、「時々」の割合で評価

【○:70%以上 △:30~70% ×:0~30%】

(1) 電力使用量の削減

取組内容	結果	評価
エアコンの温度設定 (冷房 28℃、暖房 20℃)		93.5%【達成】 ・継続して実施する
不要時のフロア消灯		96.8%【達成】 ・継続して実施する
こまめに使用していない所の 電気を消す		96.8%【達成】 ・継続して実施する
帰社時は PC モニタの電源を OFF にする		93.5%【達成】 ・継続して実施する
不必要なプラグはコンセント から抜く		51.6%【未達成】 ・継続して実施する
過充電の防止		74.2%【達成】 ・継続して実施する
クールビズ・ウォームビズの実 施		93.5%【達成】 ・継続して実施する
夏季の便座暖房機能 OFF		71.0%【達成】 ・継続して実施する

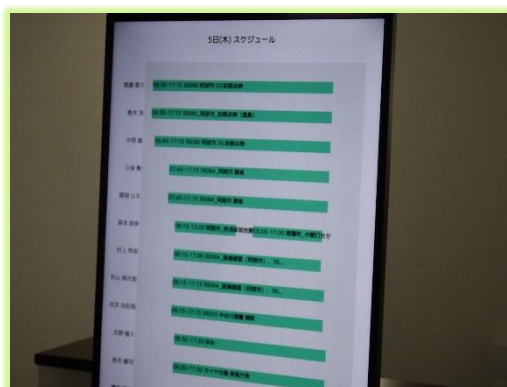


(2) ガソリン使用量の削減

取組内容	結果	評価
適切な車両整備		100.0%【達成】 ・継続して実施する
エコドライブの励行		100.0%【達成】 ・継続して実施する
アイドリングの停止		92.3%【達成】 ・継続して実施する
Web 会議・Web 講習の積極的な導入		66.7%【未達成】 ・対面形式が主体であるが積極的に提案している
通勤・現場移動ルートの効率化		85.7%【達成】 ・継続して実施する
距離に応じたハイブリッド車の使用		86.4%【達成】 ・継続して実施する
協議日程の調整・乗り合わせ		63.6%【未達成】 ・取組みは進んでいる



Web 会議用モニタを設置



スケジュール共有モニタを設置

(3) 水使用量の削減

取組内容	結果	評価
トイレのオート洗浄 OFF		38.7%【未達成】 ・設定し、シールを貼付した
節水の心掛け		100.0%【達成】 ・継続して実施する
適切な洗剤使用量の厳守		84.6%【達成】 ・継続して実施する



節水の呼びかけを掲示



待機電力削減のため設定

(4) 廃棄物排出量の削減

取組内容	結果	評価
社内書類の電子化		96.8%【達成】 ・継続して実施する
印刷前レビュー確認の徹底		100.0%【達成】 ・継続して実施する
ミスプリントを減らす		100.0%【達成】 ・継続して実施する
裏紙の使用		100.0%【達成】 ・継続して実施する
マイ箸・マイカップの使用		64.5%【未達成】 ・普段使っている社員には広がっている
ペーパーレス社内会議の推進		93.5%【達成】 ・継続して実施する

(5) グリーン購入の推進

取組内容	環境経営目標		評価
	(目標)	(実績)	
● 再生紙の利用 ● グリーン購入対象品の積極購入	42.7%	68.8%	・継続して取組む



分別ボックスの設置



裏紙を積極的に使用

(6) 環境配慮型技術提案

取組内容	環境経営目標		評価
	(目標)	(実績)	
● 成果品の紙を環境配慮製品のものにする ● NETIS 新技術の比較・採用 ● 充電式装備の使用(ヘッドライト、黄チョッキ等) ● 受注業務における提案	1 件	1 件	・受注拡大を目指す ・継続して技術提案を目指す

(7) 地域貢献

取組内容	環境経営目標		評価
	(目標)	(実績)	
● 地域ボランティア清掃への参加 ● 清掃活動の参加頻度およびエリアの拡大 ● 災害緊急対応のためのドローン操縦技術者育成	3 回	4 回	・継続して取組む ・地域参加型行事等の企画

(8) 社員満足度(ES)の向上

取組内容	環境経営目標		評価
	(目標)	(実績)	
● 社内アンケートの実施	2.87 点	2.86 点	・継続して社員満足度向上を目指す



定期的に国道清掃活動に参加

弊社の取り組み紹介

○ボランティア・サポート・プログラム徳島



一般国道55号の両側歩道を社員の全員で清掃および空き缶拾いを行っています。道路美化と道路利用者のマナーの向上を目指し活動しています。



○徳島 SDGsパートナー制度



ファルコン SDGs宣言に続き『徳島県 SDGsパートナー制度』への登録を行い、取り組みの輪を広げています。

○防火防災訓練



防火防災訓練にて、消火訓練を行うことで防火意識を高めることができました。

○防災倉庫の設置



地域貢献を兼ねて、地域防災倉庫を設置し、いざという時のために必要となる防災備品を準備しています。



環境関連法規等の遵守状況の確認

適用される主な環境関連法規は以下のとおりです。

適用される法規制	適用される事項 (施設、物質、事業活動等)	遵守 状況
環境基本法	・公害防止や自然環境保全の責務 ・施策の協力と再生資源の有効利用	○
廃棄物処理法	・許可業者以外への委託禁止 ・マニフェスト交付および保存	○
浄化槽法	・保守点検、定期水質検査の届出	○
消防法	・消防用設備の保守点検	○
グリーン購入法	・購入品、調達品の選定	○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・特定家庭用機器の長期使用 ・廃棄時の再商品化	該当 なし
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検、記録保管	○
循環型社会形成推進基本法	・廃棄物の抑制 ・非循環的資源の適正処分	○
徳島県環境基本条例	・公害防止や自然環境保全の責務	○
徳島市公害防止条例	・公害防止のための措置 ・調査、施策への協力	○

環境関連規制等は遵守されていました。

また、過去に違反、訴訟、勧告等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

【評価】

全社員による取組結果は、概ね数値目標を達成できており、弊社に合った取組みがなされたものであると評価できる。

【個別評価】

- ・ 電力、水道の使用量は、目標値よりも削減することができている
- ・ グリーン購入率や地域貢献の回数も、目標値を上回ることができた
- ・ ガソリンの使用量は微増であるが、車両の入替えも進めており、今後に期待できる
- ・ 電力、ガソリンの使用量が増えれば、それに伴い二酸化炭素排出量も増えるが、消費電力量の削減を進め、車両をハイブリットにすることで削減できると期待している
- ・ 廃棄物排出量は、ゴミの重量を記録することで正確な数量を把握することができたうえ、各自の意識も高まっており今後の削減が期待できる

【見直しの必要性】

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制等については、現状の取組みを進めるものとして、見直しの必要性はないと判断した。

【指示事項】

- ・ 弊社は、室内および現場作業において様々な環境負荷要因があり、引き続き広範囲な環境活動に取り組んでもらいたい
- ・ 今年度からは弊社の事業年度と整合を取るため、来期は 2024 年 4 月頭から 2025 年 3 月末までを整理し環境経営レポートを作成すること
- ・ 廃棄物排出量の基準値を見直し、2024 年度からは再設定する

変更の有無

- | | | |
|------------------|--|--|
| ・環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| ・環境経営目標および環境経営計画 | ☐ 変更なし | ☒ 変更あり |
| ・実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |